

2020. 2. 18

和歌山市の新型コロナ PCR 検査についての現状

済生会和歌山病院 院長

連日、新型コロナウイルスの感染拡大が報道されています。

2月17日厚生労働省より受診の相談・目安が発表されました。

症状は、通常の感冒、インフルエンザと同じです。現在のところ感染者数が分からないため、正確な数字は発表されていませんが、感染者の約半数に症状があり、その中の少数が肺炎を発症、そのうちのごく少数が重症化するといわれています。

厚生労働省は1日3000件のPCR検査を可能にしたと発表していますが、現時点での和歌山市の検査可能数は1日数十件以下で、現在肺炎で入院されている患者さんと、有田の検査でいっぱいいっぱいの状態です。和歌山市としては、まず肺炎が起こっている重症の方の検査を優先的に行い、その後軽症の方の検査を行っていくという方針となっています。

入院に関しても、和歌山市には感染床病床が10床前後しかなく、感染者すべてを入院させられるものではなく、当然重症の方のみになります。

すべての希望する方にPCR検査をし、陽性者がすべて入院するのは不可能です。

現時点では、軽症の方は、マスクをして自宅安静していただくことになっています。

地域の皆様方には、大変ご心配のことと思いますが、まず、保健所にご相談いただき、その指示に従っていただくようお願いいたします。